

4

進路指導部主任より

オミクロン株による感染者急増を受けてついに本校もオンライン授業に切り替えることになりました。そんな中、大学入学共通テストの自己採点を基に国公立への出願先を第一志望通りにするのか、それとも安全圏に切り替えるのか、受験生にとっては悩ましい日々が続いています。今年の共通テストが全体的には難化することは昨年から予想されていたことなので、自己採点の結果に対して必要以上に弱気にならず、第一志望を貫いてほしいものです。

また、受験生以外の本校の生徒も、登校したい、友達に会いたい、部活を思い切りやりたい、というキモチはよく理解できますが、まずは今、希望の進路実現に向けて、ギリギリの勝負をしている同級生、先輩たちに対して「感染拡大防止」に努めるという形で応援してほしい。よろしくお願いします！

4

いよいよ入試本番ですね！

令和4年がいよいよ始まりました！年が明け、ついに受験シーズンも本番に突入です。「鶴進」第13号ではその皮切りとなる「大学入学共通テスト」（以下、共通テスト）の詳しい解説をしました。まだ読んでいない人はそちらも是非ご一読ください。本号ではそこから始まる「一般選抜入試」の全般的な説明をしたいと思います。

4

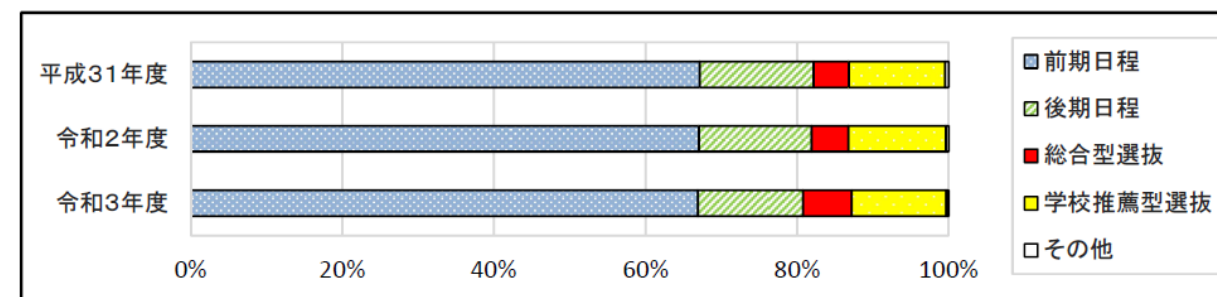
一般選抜入試の基礎知識

1. 「一般選抜入試」とは

日本の大学等が実施する入学者の選抜のうち、特別選抜〔総合型選抜(旧 AO 入試)、学校推薦型選抜(指定校推薦や旧公募制推薦)、または帰国子女などの各種選抜〕と呼ばれるものを除いた選抜形態のことを指します。国公立・私立大学ともに基本的に募集人員の割合が一番高い入試で、**国公立大学では募集人員の約8割（表1参照）、私立大学でも約5割を占める一番基本となる入試形態です。**今回は特に国公立大学に焦点をより当てて説明をしたいと思います。

表1（青、紫、緑色の「前・中・後期日程」とあるのが一般選抜入試）

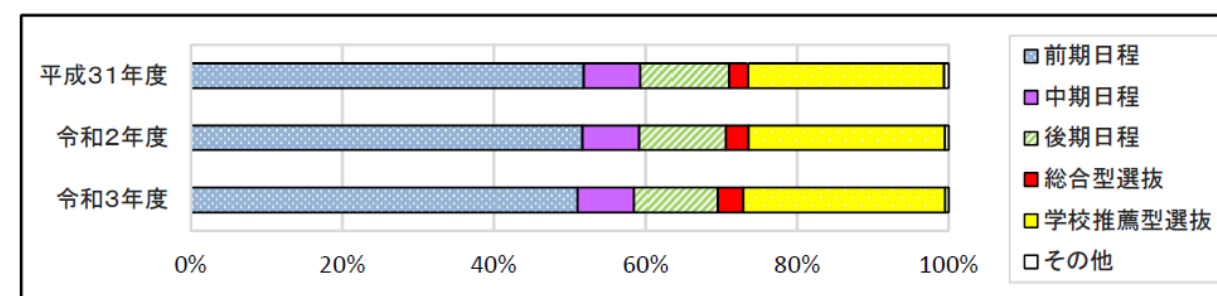
◎国 立



	前期日程	後期日程	総合型選抜	学校推薦型選抜	その他	合計
平成31年度	64,006 (67.1)	14,327 (15.0)	4,411 (4.6)	12,154 (12.8)	421 (0.4)	95,319 (100.0)
令和2年度	63,810 (67.1)	14,161 (14.9)	4,619 (4.9)	12,213 (12.8)	361 (0.4)	95,164 (100.0)
令和3年度	63,647 (66.9)	13,193 (13.9)	6,091 (6.4)	11,849 (12.5)	317 (0.3)	95,097 (100.0)

() 内は募集人員に対する割合を示す

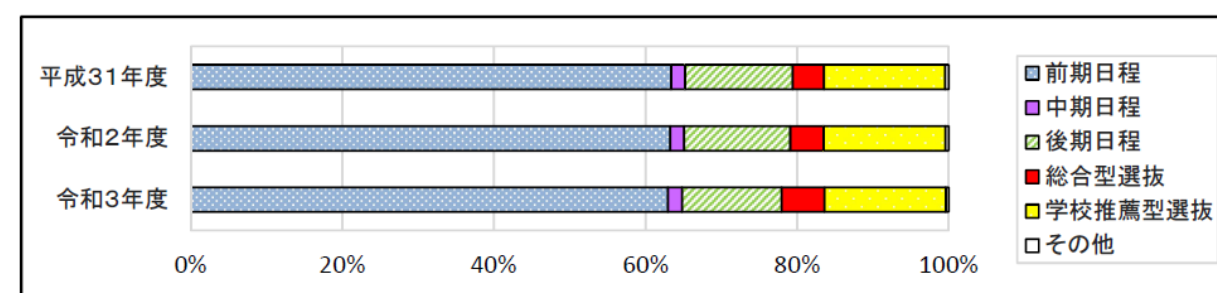
◎公 立



	前期日程	中期日程	後期日程	総合型選抜	学校推薦型選抜	その他	合計
平成31年度	16,108 (51.8)	2,310 (7.4)	3,648 (11.7)	792 (2.5)	8,033 (25.9)	180 (0.6)	31,071 (100.0)
令和2年度	16,232 (51.7)	2,355 (7.5)	3,592 (11.4)	940 (3.0)	8,143 (25.9)	157 (0.5)	31,419 (100.0)
令和3年度	16,202 (51.0)	2,364 (7.4)	3,513 (11.1)	1,066 (3.4)	8,462 (26.6)	147 (0.5)	31,754 (100.0)

() 内は募集人員に対する割合を示す

◎合 計



	前期日程	中期日程	後期日程	総合型選抜	学校推薦型選抜	その他	合計
平成31年度	80,114 (63.4)	2,310 (1.8)	17,975 (14.2)	5,203 (4.1)	20,187 (16.0)	601 (0.5)	126,390 (100.0)
令和2年度	80,042 (63.2)	2,355 (1.9)	17,753 (14.0)	5,559 (4.4)	20,356 (16.1)	518 (0.4)	126,583 (100.0)
令和3年度	79,849 (62.9)	2,364 (1.9)	16,706 (13.2)	7,157 (5.6)	20,311 (16.0)	464 (0.4)	126,851 (100.0)

2. 国公立大学における一般選抜入試

a. 共通テスト

国公立大学は、「鶴進」第13号でも特集されていた通り、「共通テスト」を一次試験的な役割として必須受験としています。その上で大学別に二次試験的役割として「個別学力検査」が行われ、この両者の得点の合計で合否を判定していきます。共通テストは例年1月中下旬の土・日曜日に全国で一斉に実施され、令和4年度入試は1月15日（土）・16日（日）の2日間で行われました。受験生はこのテストを受験後、公表される解答・配点で自己採点を行い、それから志望する大学を決定して出願していきます。共通テストでの自分の手ごたえや自己採点の結果が満足いくものなら、自信をもって第一志望の大学に出願をしていく訳ですが、手ごたえや自己採点の結果が芳しくない場合、安全策をとって第二志望以降の大学に出願する受験生もいます。

b. 個別学力検査 ～点数の割合～

出願が済むといよいよ志望大学ごとに実施する個別学力検査となります。共通テストの成績と個別学力検査の成績のどちらを重視するのか、または等価値とするのかは、それぞれの大学によって違います。共通テストの点数が入試の7割を占める大学もあれば、共通テストの点数は全体の2割で、個別学力検査の点数が物を言うような大学もあります。共通テストの特定の教科・科目は点数を2倍にして計算する、というような特殊な合計の仕方をする大学もあります（表2参照）。自分が受験しようとする大学がどのような点数配分をするのかは、必ず事前に調べておきましょう。

c. 個別学力検査 ～前期日程・後期日程～

個別学力検査の日程は、2月下旬の前期日程と3月上旬の後期日程に分かれています。一部の公立大学ではその間に中期日程というのを設定していることもあります。前期日程でA大学に出願し、後期日程ではB大学に出願する、といった受験の仕方が可能です。従って中期日程も活用すると国公立大学でも最大で3校出願・受験することが可能なのです。前期日程で不合格になっても、まだまだ合格のチャンスがあります。ただし、逆に前期日程でも後期日程でも合格したらどうするのか？ということですが、その場合は前期日程の合格が採用され、A大学に進学ということになりますので、第一志望を前期日程で出願・受験することが鉄則です。

d. 個別学力検査 ～受験科目～

受験科目は、おおよそ文系学部であれば国・数・英・地歴公民（社）の4教科の中から2～3科目、理系学部であれば国・数・英・理の4教科から同様に2～3科目を個別学力検査として受験します。東京大学のような難関大学ですと、4教科の中から4科目を受験、というような仕組みの大学もあります。また後期日程になりますと、それと別に小論文や面接も課せられるケースがありますので、そのための対策も必要になってきます。ただ、中期日程・後期日程は難関大学では廃止・縮小の傾向にあり、そういう意味でも前述した通り、一番行きたい大学を前期日程で出願することが必須と言えるでしょう。

表2

東京大学 理科I類 前期	合計550点 共通テスト 110点 個別学力検査 440点
名古屋大学 法学部 前期	合計1500点 共通テスト 900点 個別学力検査 600点
神戸大学 国際人間科学部 前期	合計800点 共通テスト 400点 個別学力検査 400点

3. 私立大学における一般選抜入試

a. 入試のタイプ・日程

一方の私立大学ですが、時期としては1月下旬～2月が主流となります。大学ごとに入試をそれぞれ行っているので、非常にバラエティに富んだものになっています。1回の受験でその大学の複数の学部・学科にチャレンジできる「全学部入試（全学部日程、全学部統一入試など呼称は様々。以下同様）」、同じ学部でも複数の試験日があり、自分で都合の良い方を選ぶ「試験日選択制入試」、また3月になってもまだ間に合う「後期日程（B日程・C日程、Ⅱ期・Ⅲ期など）」、共通テストの点数で合否が決まる「共通テスト利用入試」、英検等のスコアが合否に影響する「英語外部検定試験利用入試」などがあります。

b. 受験科目

私立大学はおおむね3科目受験が主流です。文系学部は国・英・地歴公民（社）、理系学部は数・英・理という組み合わせが多く見受けられます。国公立同様、その3科目の中での配点は大学や学部・学科によってまちまちです。また中には国・英のみや数・英のみといった2科目型入試と呼ばれるものや、英語のみといった1科目型などもあったりします。ただし、受験科目数の少ない入試は必然的に倍率がとても高くなりますので、よほどの高得点を取らないと合格は難しいと言えるでしょう。



まとめ

以上が大まかな一般選抜入試の概要となります。今回は国公立大学に重点を置きましたが、私立大学を考えている皆さんにも参考になるところは大であると思います。この「鶴進」を読み、進学先をより真剣に具体的に考えるきっかけにして欲しいと思います。

先日共通テストが実施されました。数学をはじめ、様々な科目で平均点が大きく下がり、難化傾向が今後とも続くと見られます。しかし大切なのはそれで一般選抜入試を避けるのではなく、早くからより具体的に自分の志望大学を決め、そこに向けてどんな勉強・準備をするべきなのかを知ることです。ご家族や学校の先生方ともまめに相談をすることもお勧めします。夢の実現に向けて頑張りましょう！